日本レジャー・レクリエーション学会
第 56 回学会大会　開催要項

大会テーマ「レジャー・レクリエーションと地域創成」
―スマートシュリンク社会におけるトリアージを考える―

１．主催：日本レジャー・レクリエーション学会
２．主管：日本レジャー・レクリエーション学会　第 56 回学会大会実行委員会
３．期日：2026（令和 8）年 11 月 13 日（金）・14 日（土）・15 日（日）
４．会場：東京農業大学 世田谷キャンパス　< https://www.nodai.ac.jp/>
５．日程

【第１日目】11 月 13 日（金）　地域研究
テーマ：世田谷区における地域創成とレジャー・レクリエーションの実際
12:30　集合（場所：小田急線成城学園前駅改札口前）
13:00　出発
解説　公益社団法人世田谷トラストまちづくりスタッフ（山﨑人詩氏　他）
17:00　解散
18:00　（希望者のみ懇親会・予定）

【第２日目】11 月 14 日（土）　理事会・基調講演・パネルディスカッション・特別セッション
11:00～12:00　理事会　会場：国際センター2 階　カンファレンスルーム１
12:00～　受付　受付場所：国際センター2 階榎本ホール前ホワイエ
13:00～13:10　会長挨拶　田中　伸彦（学会会長）
13:10～14:40　基調講演　会場：国際センター2 階　榎本ホール
プロ登山家　竹内洋岳　氏（立正大学客員教授）
講演テーマ
「登り続ける」
14:40～14:50　休憩
14:50～16:00　パネルディスカッション
竹内洋岳　氏（プロ登山家・立正大学客員教授）
西島大祐　氏（鎌倉女子大学）
田中伸彦　氏（東海大学）
師岡文男　氏（上智大学）
モデレーター：下嶋聖氏（東京農業大学）
16:00～16:15　休憩
16:15～17:45　特別セッション「学会の存在意義とは：スマートシュリンク社会におけるトリアージを考える」
土屋　薫　氏（江戸川大学）
犬塚　潤一郎　氏（実践女子大学）
涌井　忠昭　氏（関西大学）
佐橋　由美　氏（大阪樟蔭女子大学）
モデレーター：下嶋聖氏（東京農業大学）
18:00～20:00　懇親会
会場：東京農業大学　レストランすずしろ
司会進行：町田怜子氏（東京農業大学）

【第３日目】11 月 15 日（日）　研究発表（口頭発表・ポスター発表）・総会・
8:50～　受付開始（1 号館 1 階）
8:50～14:00　ポスター発表　会場オープン
9:10～10:30　研究発表 A 会場　1 号館 1 階　131 教室　３演題
B 会場　1 号館 1 階　141 教室　４演題
C 会場　1 号館 1 階　132 教室　４演題

10:40～11:50　ポスター発表　コアタイム　1 号館 1 階　ホワイエ
13:00～13:30　総会　A 会場　1 号館 1 階　131 教室
13:40～15:00　研究発表 A 会場　1 号館 1 階　131 教室　４演題
B 会場　1 号館 1 階　141 教室　４演題
C 会場　1 号館 1 階　132 教室　３演題
15:10～15:30　表彰式・閉会式　A 会場　1 号館 1 階　131 教室

理事会：2026（令和8）年 11 月 14 日（土）11:00～12:00
会場：国際センター2 階　カンファレンスルーム1
総会：2026（令和8）年 11 月 15 日（日）13:00～13:30
会場：A 会場 1 号館 1 階 131 教室
学会賞表彰式：2026（令和8）年 11 月 15 日（日）15:10～15:30
会場：A 会場 1 号館 1 階 131 教室

大学食堂・売店の営業について

店舗名	大学生協	レストランすずしろ	セブンイレブン	サザコーヒー
場所	常盤松会館 1 階	18 号館 1 階	常盤松会館 1 階	国際センター1 階
14 日（土）	*休業*	**営業**	**営業**	**営業**
15 日（日）	*休業*	*休業*	*休業*	**営業**

・なお大学周辺（正門前・世田谷通り）には、飲食できる店は多数あります。
・両日ともお弁当の準備はいたしません。各自でご準備ください。

喫 煙 所 ：喫煙は指定された場所（会場マップ参照）でお願いします（厳守のこと）。

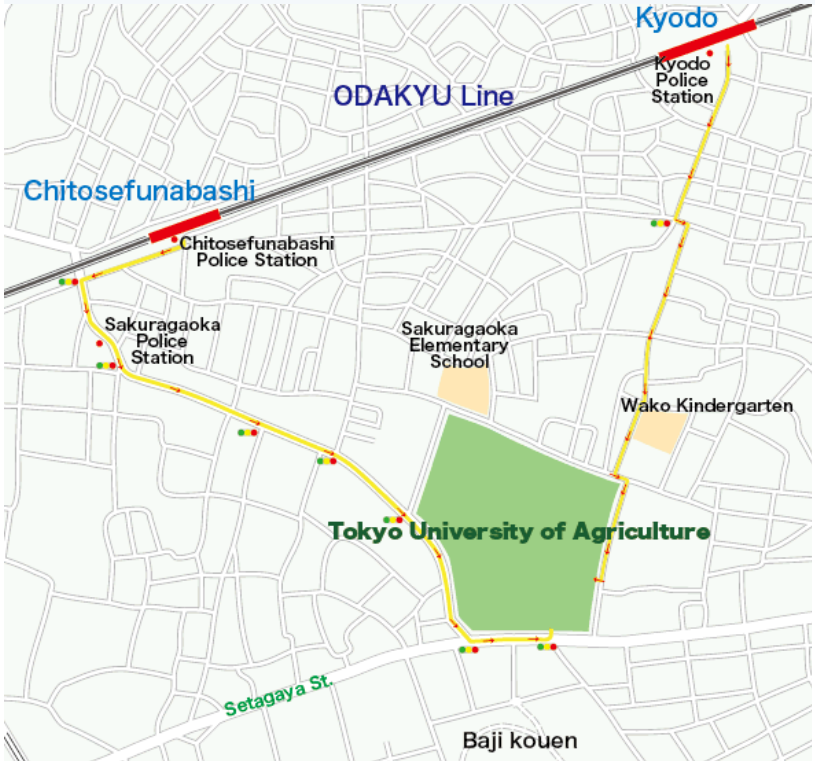
交通のご案内

■日程　2026（令和8）年 11 月 13 日（金）・14 日（土）・15 日（日）
11 月 13 日（金）地域研究
11 月 14 日（土）理事会・基調講演・シンポジウム・懇親会
11 月 15 日（日）ポスター発表・口頭発表・総会・表彰式・閉会式

■会場　東京農業大学 世田谷キャンパス　〒156-8502　東京都世田谷区桜丘１－１－１
https://www.nodai.ac.jp/

■交通





●小田急線
・経堂駅下車
徒歩　約 15 分
・千歳船橋駅下車
徒歩　約 15 分
バス　約５分（千歳船橋駅～農大前）
東急バス渋谷駅行（渋 23）用賀駅行（用 01）

●JR 山手線
・渋谷駅下車（渋谷駅西口）
バス　約 30 分（渋谷駅～農大前）
東急バス成城学園前駅西口行（渋 24）、用賀行（渋 22）、祖師ヶ谷大蔵駅行（渋 23）

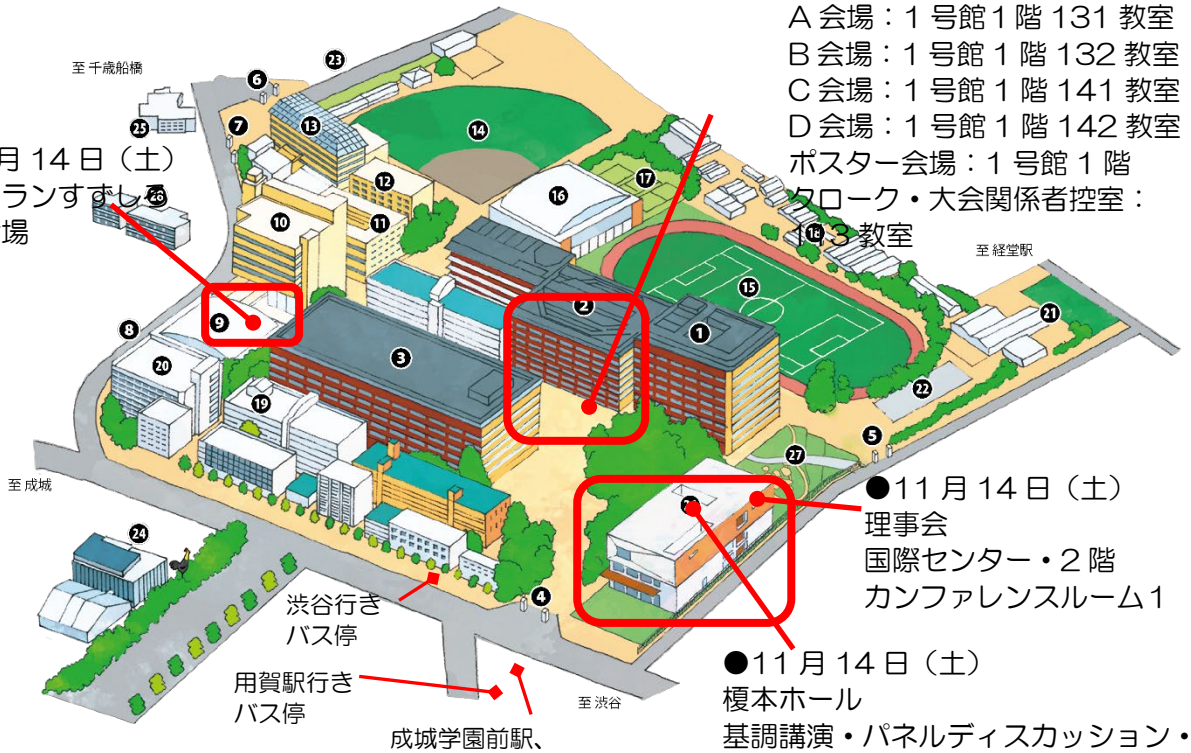
●東急田園都市線
・用賀駅下車
徒歩　約 20 分
バス　約 10 分（用賀～農大前）
東急バス祖師谷大蔵駅行（用 01）、渋谷駅行（渋 22）

会場のご案内

■会場マップ

●11 月 15 日（日）
A 会場：1 号館 1 階 131 教室
B 会場：1 号館 1 階 132 教室
C 会場：1 号館 1 階 141 教室
D 会場：1 号館 1 階 142 教室
ポスター会場：1 号館 1 階
クローク・大会関係者控室：
1 号館 3 教室

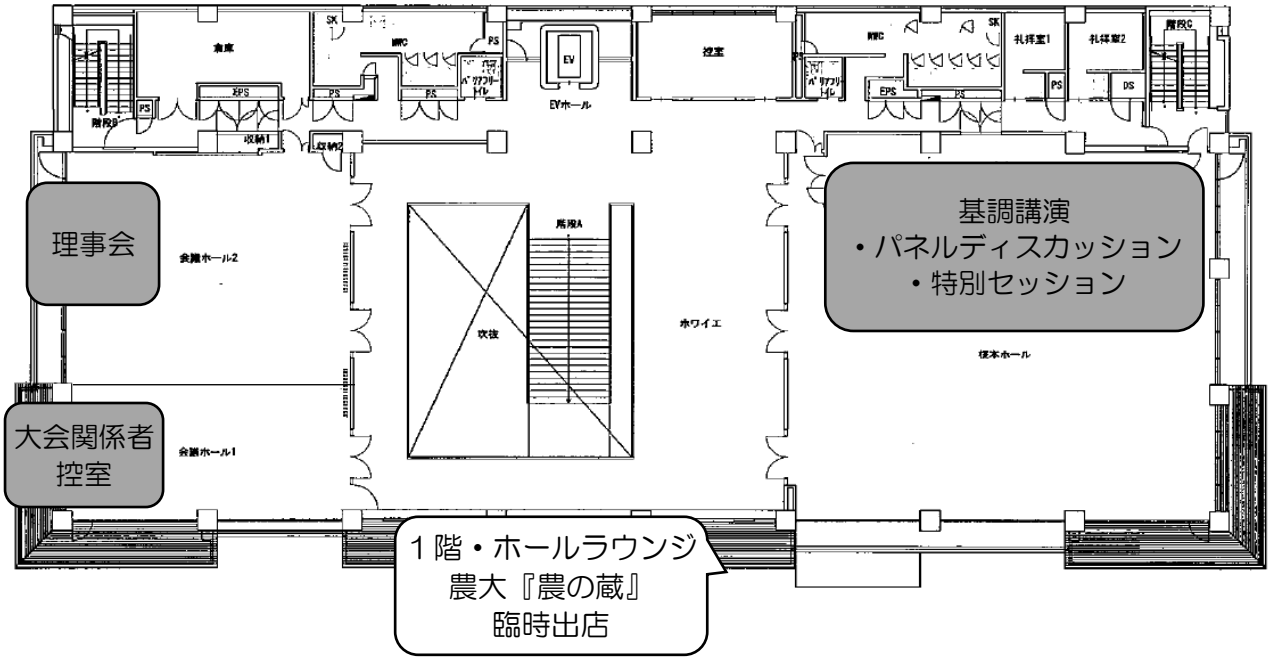
●11 月 14 日（土）
レストランすずしろ
懇親会場



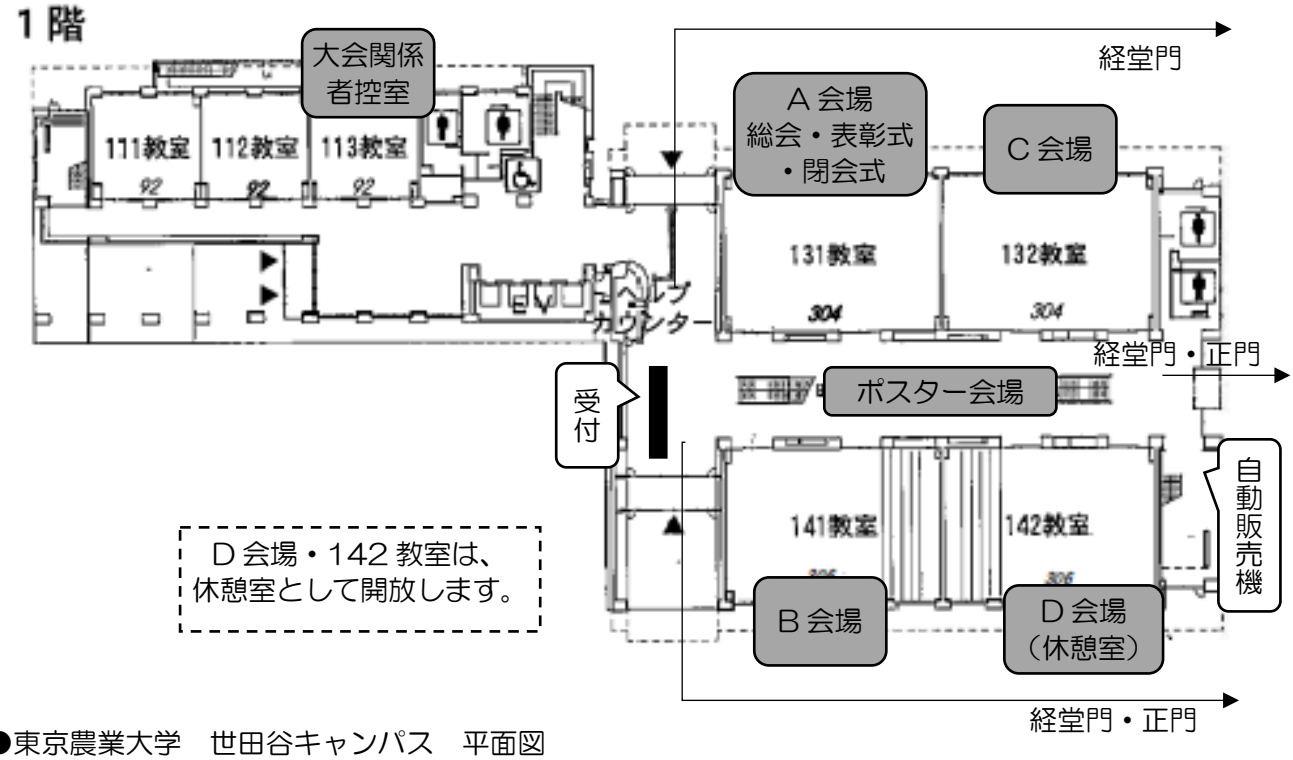
●11 月 14 日（土）
理事会
国際センター・2 階
カンファレンスルーム 1

●11 月 14 日（土）
榎本ホール
基調講演・パネルディスカッション・
特別セッション

■各会場位置図
【11 月 14 日（土）：2 日目】・国際センター 2 階　榎本ホール
基調講演・パネルディスカッション・特別セッション
理事会：カンファレンスルーム 1　大会関係者控室：カンファレンスルーム 2

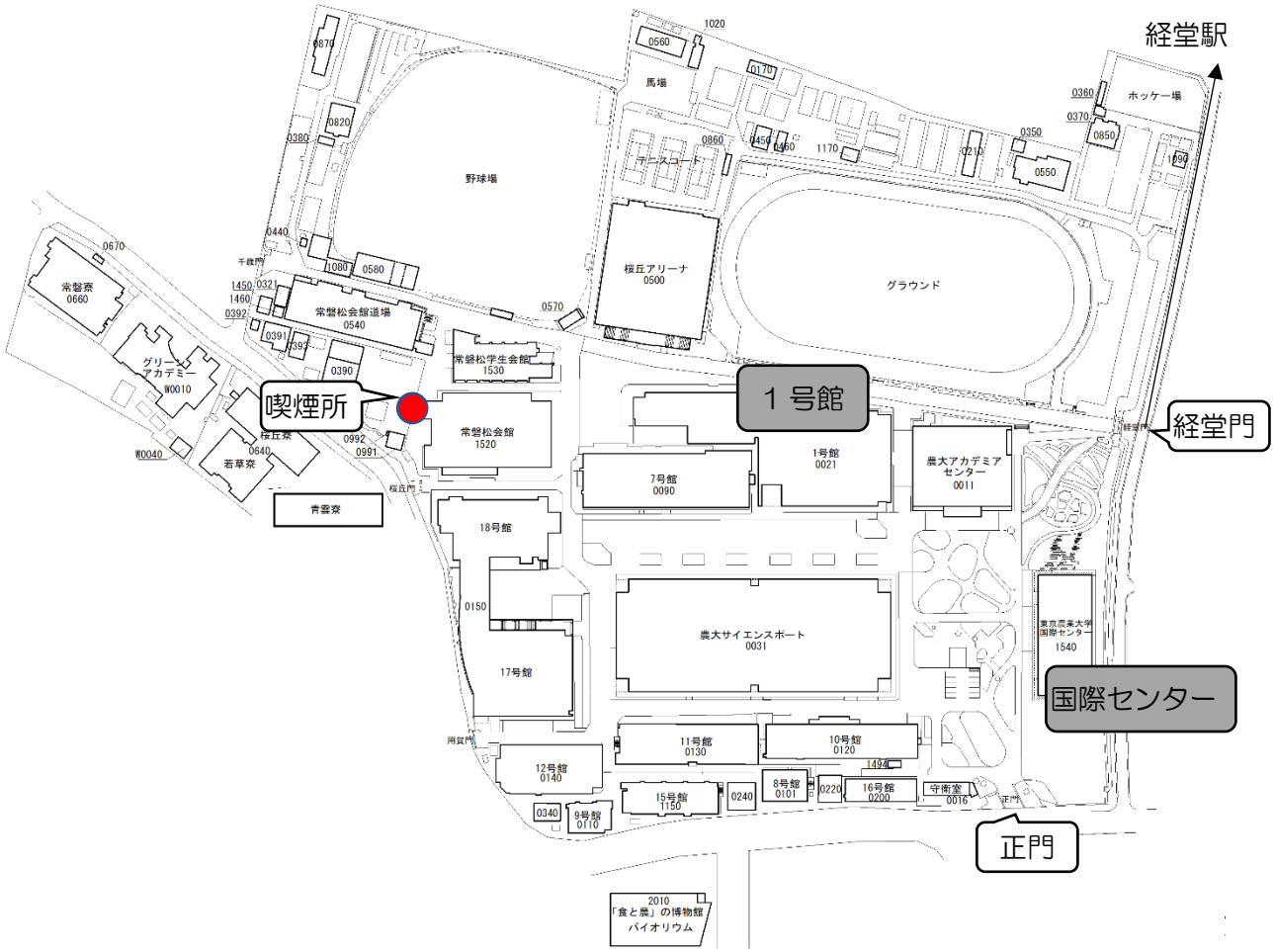


【11 月 15 日（日）：３日目】• １号館１階



D 会場・142 教室は、
休憩室として開放します。

●東京農業大学　世田谷キャンパス　平面図
（喫煙所の位置）



大会プログラム　3日目・11/15（日）

口頭発表：11月15日（日）9:10～10:30　A会場　1号館1階131教室

座長：師岡文男〔上智大学〕

A-1. 地域連携型PBLによる地域資源のレジャー体験化
——学生と地域ボランティアガイドによるウォーキング・プログラムの共創
○関口英里〔同志社女子大学〕

A-2. まちあるきにおける場所と自己の関係づけ
—地域資源への注目から場所経験の形成を考える—
○土屋薫〔江戸川大学〕・須賀由紀子〔実践女子大学〕・藤田美幸〔新潟国際情報大学〕

A-3. ロゲイニングにおける楽しさ・達成感が満足度を介して再参加意図に至る媒介プロセス
○中井聖〔大阪電気通信大学〕

A-4. ラッファの日本における受容と組織形成過程—公開資料からみた国内外の統括構造への接続—
○大木洵人〔グローバルBiz専門職大学〕

口頭発表：11月15日（日）9:10～10:30　B会場　1号館1階141教室　＊

座長：菅原成臣〔東京YMCA〕

B-1. アニメツーリズムにおける聖地巡礼の持続性と観光構造の多様性に関する研究
—大洗町を事例として
○張峰潤〔東海大学大学院文学研究科観光学専攻〕・田中伸彦〔東海大学観光学部〕

B-2. 地域景観と文化的価値を活用したエコツーリズムの持続可能な発展
-成都市香草湖湿地公園を事例として-
○陳通怡〔東海大学大学院文学研究科観光学専攻〕・田中伸彦〔東海大学観光学部〕

B-3. ガーデンツーリズムによる地域振興の可能性と課題
—ガーデンネックレス横浜を事例として—
○周カン〔東海大学大学院文学研究科観光学専攻〕・田中伸彦〔東海大学観光学部〕

B-4. ガストロノミーツーリズム創出に向けた日本の国立公園における食資源の空間的分布とレクリエーション活用の可能性
○福田一葉〔東京農業大学大学院〕・下嶋聖〔東京農業大学〕

口頭発表：11月15日（日）9:10～10:30　C会場　1号館1階132教室　＊

座長：山崎律子〔(株)余暇問題研究所〕

C-1. 大学生キャンプ実習における「生きる力」の変容
—冒険プログラムを実施した実習生に着目して—
○村山航葉〔日本体育大学大学院〕・鈴木康介〔日本体育大学〕・高荷英久〔日本体育大学〕

C-2. 東京ディズニーランドにおける店舗空間と観光空間の世界観
—固定型店舗と移動型店舗に着目して—
○武井優人〔東海大学文学研究科観光学専攻〕・田中伸彦〔東海大学観光学部〕

C-3. デスティネーション形成の過程から考察する関係人口の創出について
—神奈川県箱根町を事例に—
○大矢将永〔東海大学大学院文学研究科観光学専攻〕・田中伸彦〔東海大学観光学部〕

口頭発表：11月15日（日）13:40～15:00　A会場　1号館1階131教室

座長：涌井忠昭〔関西大学〕

A-5. 水田農業における農福連携の実践形態と地域共生社会への展開
○町田怜子〔東京農業大学〕

A-6. 成人期を迎えた小児がん経験者におけるがん種別の体力特性に基づく運動指導の方向性に関する検討

〇堀江久樹〔九州共立大学〕・石坂正大〔国際医療福祉大学〕・花田道子〔九州共立大学〕
・澤田直哉〔元学習院大学〕・大植孝治〔兵庫医科大学〕

A-7. 地域在住高齢者を対象としたｅスポーツ活動参加者の特徴
～公民館活動参加者における基本チェックリストの結果から～
〇黒木真吾〔九州看護福祉大学〕

A-8. 社会性の育成を目指す集団レクリエーション活動に参加した発達障害のある児童の体力特性に関する横断調査
〇澤田直哉[元学習院大学]・堀江久樹[九州共立大学]・花田道子[九州共立大学]

口頭発表：11 月 15 日（日）13:40～15:00　B 会場　1 号館 1 階 141 教室

座長：三宅基子〔京都先端科学大学〕

B-5. フリースクールにおけるスポーツダーツの日常導入 児童生徒と職員の自由記述に基づく活動経験と参加の選択の検討
〇門倉洋輔〔小田原短期大学〕・廣瀬団〔東北生活文化大学短期大学部〕

B-6. 大学をキャンプ場に　～あそびゼミナールでの実践から～
〇北濱幹士〔東海大学〕・岡田成弘〔東海大学〕

B-7. ライフキネティックを活用したスポーツ教室の実践ーフローー理論からその可能性を探るー
〇迫俊道〔大阪商業大学〕

B-8. スポーツイベント開催に対するスタッフの意識や課題に関するー考察
-今後のドッジボール大会開催の展望に着目して-
〇島崎　百恵〔東海大学〕

口頭発表：11 月 15 日（日）13:40～15:00　C 会場　1 号館 1 階 132 教室

座長：土屋薫〔江戸川大学〕

C-5. マナスルベースキャンプにおける高所登山がもたらす環境負荷の定量化
―2024 年及び 2026 年の比較から―
〇下嶋聖〔東京農業大学〕・浅倉康裕〔東京農業大学〕・入江満美〔東京農業大学〕
・土屋薫〔江戸川大学〕

C-6.　米国市場における日本の特撮作品のローカライズ戦略の変遷ー映像史研究の視点からー
〇二重作昌満〔東海大学総合社会科学研究所〕

C-7. 夏季屋外空間における熱中症予防に向けた日陰創出による暑熱緩和効果
〇宮本雄司〔早稲田大学〕

ポスター発表：11 月 15 日（日）10:40～11:50　1 号館 1 階ホワイエ

座長：町田怜子〔東京農業大学〕

P-1. 筆界データを用いた都市緑地形成ポテンシャルの評価―世田谷区を対象として―　＊
〇竹下裕貴〔東京農業大学大学院〕・下嶋聖〔東京農業大学〕

P-2. 発達障害のある児童との集団キャンプを企画したボランティアにおける対象理解　＊
〇文野径〔九州共立大学〕・花田道子〔九州共立大学〕・江藤伸康〔九州共立大学〕・
陶山翔矢〔九州共立大学〕・井戸勇颯〔九州共立大学〕・堀江久樹〔九州共立大学〕

P-3. 小児がん経験者の健康づくりに向けた運動プログラムを導入したレクリエーションキャンプの実践　＊
〇陶山翔矢〔九州共立大学〕・横山誠〔大阪国際大学〕・花田道子〔九州共立大学〕
・高橋達己〔筑波大学〕・山城友理恵〔九州共立大学〕・大植孝治〔兵庫医大学〕
・小松敏彰〔北里大学〕・石坂正大〔国際医療福祉大学〕・堀江久樹〔九州共立大学〕

P-4. スポーツウエルネス吹矢愛好者の肺活量
〇松永須美子［東大阪大学短期大学部］・松永智［京都産業大学］

P-5. 対馬の地域資源を活用した観光振興の取り組みに関する考察

～地域活性化と自然環境保全の両立に向けて～
○加藤淳一〔大阪国際大学短期大学部〕・横山誠〔大阪国際大学〕

P-6. レクリエーションダンス愛好者の生きがい意識と活動継続動機との関連
○高山昌子〔大阪国際大学〕・森田清美〔大阪大谷大学〕

P-7. ACP 対話の場をほぐすレクリエーションゲームの可能性
―すごろく型ボード―ゲームの設計と予備的検討―『60 歳からの人生ゲーム』＊
◯高橋詠音〔立命館大学〕・樋熊理乃〔立命館大学〕・横田心暖〔立命館大学〕
・浦川陽菜〔立命館大学〕・兼平梓紗〔立命館大学〕・植田美光〔立命館大学〕
・森悠太朗〔立命館大学〕・小野雅崇〔立命館大学衣笠総合研究機構〕
・堂宮立哉〔元立命館大学〕

P-8. 生成 AI と検索を用いた留学生の日本語による地域調査 国際園芸博覧会と那珂湊の芸術祭を題材とした留学生の理解と関心の変化
○今中厚志［帝京平成大学］・長島匠［大阪キリスト教短期大学］・奥田祥吾［大正大学］
・古性淑子［横浜美術大学］・大町秀太郎［横浜美術大学］・星悠海［横浜美術大学］
・石塚隼士［横浜美術大学］

P-9.「妖怪」を題材としたコンテンツツーリズムは地方観光地の活性化に寄与するのか
－長野県小布施町の活性化に向けた検討－＊
○市川泰志〔東海大学観光学部〕・田中伸彦〔東海大学観光学部〕

P-10. 駅舎の宿泊施設としての活用における事業モデルの有用性について
～天竜浜名湖鉄道二俣本町駅を事例に～＊
○髙橋将〔東海大学観光学部〕・田中伸彦〔東海大学観光学部〕

P-11. 地形条件が島嶼地域のコミュニティ形成と移住者受け入れに与える影響
-母島と青ヶ島を事例として-＊
○大森　啓生〔東京農業大学〕・下嶋　聖〔東京農業大学〕

P-12. AI の判別を利用した日本におけるトピアリーの類型化　＊
○伊東　里紗〔東京農業大学〕・下嶋　聖〔東京農業大学〕・宮崎　雅代〔日本トピアリー協会〕

＊学生発表

■第 56 回学会大会　発表件数一覧

	一般	学生	計
口頭発表	15	7	22
ポスター発表	4	8	12
	19	15	34

参加者へのご案内

１．受付

11 月 13 日（金）　地域研究：「世田谷区における地域創成とレジャー・レクリエーションの実際」

時間 13:00～17:00　参加費￥2,000 円
13:00 集合　小田急線・成城学園前駅改札前
17:00 頃　解散　小田急線・喜多見駅

11 月 14 日（土）　基調講演、パネルディスカッション、特別セッション

受付　12:00～　東京農業大学世田谷キャンパス
国際センター2 階

懇親会　東京農業大学　世田谷キャンパス　レストランすずしろ
時間　18:00～20:00　参加費￥5,000－（学生は 2,000 円）

11 月 15 日（日）　研究発表　受付 8:50～ 東京農業大学 世田谷キャンパス 1 号館 1 階ロビー

２．参加費

正会員　￥4,000―
その他の一般の方（非学会員）　￥3,000―
※但し、11 月 14 日（土）は一般公開のため、参加費は無料となります
※学生（大学院生、学部、短大、専門学校の在校生）に限り、11 月 15 日（日）は無料にて参加できます。その折、受付時に学生証の提示をお願いします。
11/14（土）懇親会費　5,000 円（学生は、2,000 円とします。学生証の提示をお願いします）

３．昼食

11/14 及び 15 両日ともお弁当の準備はいたしません。各自でご準備ください。

４．駐車場

学内には一般向けの駐車場はありません。お車、オートバイ等でのご来場はご遠慮ください。

５．喫煙

学内は、全面禁煙です。喫煙は指定の場所で（参照のこと）お願いします。

６．宿泊

東京農業大学世田谷キャンパス周辺は宿泊施設がないこともあり、宿泊の斡旋はいたしません。各自でご準備願います。

研究（口頭）発表へのお願いとお知らせ

１．口頭発表者へのお知らせ
（１）未払い諸費用（年会費、参加費など）のある方は、学会大会終了後に口座振込により、支払手続き（全納）を済ませてください。
（２）配布資料や補足資料のある方は、演題番号（例：Ａ－１）、演題、演者氏名（筆頭）を記載した資料を 30 部ご用意の上、発表予定の教室入口の机に置いてください。
（３）発表時間は１演題につき 15 分です（13 分経過時に１回のベル、15 分経過時に２回のベル）。その後、5 分間の質疑応答を行い、20 分経過時に 3 回のベルで終了です。
（４）発表に使用できる教材については、PC（ Windows、power point）となっています。

２．座長へのお願いとお知らせ
（１）受付は、開始 30 分前までに済ませてください。
（２）時間（発表時間、質疑応答時間）を厳守して、進行するようにお願いします。
（３）各発表後、速やかに質疑応答に入り、発表ごとに完結してください。

３．質問者へのお願い
（１）挙手をし、座長の指示を待って所属と氏名を告げ、質問をしてください。
（２）質問は、演者、座長、会場の聴講者に努めてわかりやすいように発言してください。

４．研究奨励賞－口頭発表部門―について
（１）今大会より、学会賞研究奨励賞の「口頭発表部門」について、推薦方式から学会大会時に表彰委員会が審査を行う方式に変更となりました。同日開催される閉会式において、優秀発表への表彰を行います。
（２）「研究奨励賞－口頭発表部門―」選考の該当資格は、筆頭著者が学生（大学院生、大学生、短期大学生、専門学校生など）であることとなっています。

研究（ポスター）発表へのお願いとお知らせ

１．ポスター研究発表者へのお知らせ
（１）未払い諸費用（年会費、参加費など）のある方は、学会大会終了後に口座振込により、支払手続き（全納）を済ませてください。
（２）ポスターは、11 月 15 日（日）の 10:30 までに掲示を完了してください。
（３）掲示するボードは、演題番号の貼付により指定します。
（４）ポスターサイズはＡ０サイズ（841 × 1189㎜）の範囲内で自由に掲示してください。
（５）掲示に使用する用具は、会場にて用意します。
（６）発表と質疑応答（コアタイム）は、10:40～11:50 までです。時間内は、ポスターの前で待機をお願いします。
（７）コアタイムでは、3 分程度のショートプレゼンテーションをお願いします。
（８）ポスター発表終了は、14:00 までに掲示物の撤去をお願いします。

２．研究奨励賞―ポスター発表部門―について
（１）学会賞研究奨励賞に「ポスター発表部門」が設けられています。同日開催される閉会式において、優秀ポスターへの表彰（会長賞と理事長賞）を行います。
（２）「研究奨励賞―ポスター発表部門―」選考の該当資格は、筆頭著者が学生（大学院生、大学生、短期大学生、専門学校生など）であることとなっています。